

# SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

## 「意図せざる増加」の向こう側 (業態別貸出残高推移から)

新聞報道等で気になっていたことの一つは「銀行貸出残高がかつてない伸びを示している」という情報でした。前回のレポートで大手銀行の大企業向け融資の増加が中小企業向け融資を圧迫する可能性について触れましたが、あれはデータで裏付けられたものではなく、あくまで私の推測に過ぎません。未だ日銀から詳細なデータは出ていませんが、12月の業態別(都銀、地銀といった区分)貸出残高動向が出ましたので05年からの推移を追ってみました。

それを一覧表にしたのが下表です。(単位:金額兆円、比率%)

年月	全体残高		都銀		地銀		第地銀		信金	
	残高	前年比	残高	前年比	残高	前年比	残高	前年比	残高	前年比
05/06	436	2.3	204	5.3	132	2.2	39	4.1	61	0.1
05/12	445	0.2	207	2.3	135	2.0	40	2.2	62	0.3
06/06	444	1.7	205	0.7	136	3.0	40	3.1	61	1.2
06/12	453	1.6	210	1.1	139	2.7	40	1.7	62	0.9
07/06	447	0.7	204	0.5	139	2.5	40	1.0	61	0.4
07/12	453	0.1	206	1.8	143	2.5	41	1.9	62	0.0
08/06	455	1.8	206	0.9	144	3.4	41	2.6	62	0.5
08/12	470	3.7	214	4.2	149	4.6	42	2.1	63	1.1
前年比	16.6	3.6	8.6	6.0	6.5	2.1	0.8	0.2	0.6	1.1

何だか数字ばかりが並んで恐縮ですが、景気が回復過程に入ったのが確認された05年から、今週政府が「急速に悪化」と判断した昨年12月までの貸出平均残高とその対前年比伸率を6ヶ月毎に記入したものです。先ずはよくご覧いただきたいのですが、上表から指摘できる事実を幾つか挙げてみます。

1. 金融機関全体の貸出は05年12月で底を打った(06年1月より残高プラス転化)が、都銀の貸出には明確な底打ちは見られず増減を繰り返した。
2. 都銀の貸出増加が明確となったのは昨08年に入ってからであり、それが一段と顕著となったのは10月以降で、結果として昨年後半の半年だけで8兆円貸出を増やした。
3. 地銀(第)は貸出を減らすことなく概ね堅調に伸ばしてきたが、都銀と同様、10月以降に伸率を高め半年で5兆円増やした。
4. 第地銀、信金は概ね横ばいで推移し目立った動きは見られない。

さて、貴方はこの業態別金融機関の貸出残高推移をどう評価するでしょうか。安易に結論を出すと間違えるような気がしますが、やはり都銀と地銀の貸出残高急増に「意図せざる増加」が起こっていると見て間違いのないように思います。銀行も、大企業が資金調達を市場から銀行借入にシフトするなんて予想していなかったと思われそうですが、問題はこの「意図せざる増加」が銀行の投融资行動にどのような影響を与えるかにあります。

日銀は、22日の金融政策決定会合で、CPや資産担保CPを最大3兆円買い取る、残存期間1年以内の社債買い取りを検討する、適格担保としてREIT債を追加する、ことを決定したと報じられました。これは、銀行の銀行である日銀が、間接的に個別企業の資金繰りを支える行動に出たことを意味し、銀行貸出の「意図せざる増加」に歯止めをかける意味合いもあるものと思います。

日銀の新たな行動はそれだけ経済・金融環境が逼迫していることを示していますが、これによって大企業の資金調達が円滑化し、ひいては中小企業金融も緩んでくるのでしょうか。何とも分かりませんが、あまり期待はできないと思った方がいいでしょう。資金計画は慎重にたてて欲しいと思います。

発信日: 2009.1.24 第576号

《複製・転載等をご連絡下さい》

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

URL: [http://www.hi-ho.ne.jp/smc\\_toyo/](http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/) Email: [smc\\_toyo@hi-ho.ne.jp](mailto:smc_toyo@hi-ho.ne.jp)